

群馬工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	日本語演習
科目基礎情報						
科目番号	0122		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書：受かる小論文・作文模範文例：新星出版社編集部編：新星出版社：9784405019348					
担当教員	田貝 和子					
到達目標						
☐ 日本語能力試験 N 1 程度の日本語能力を身につけることができる。 ☐ 論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを呼んで、文章の構成や内容を理解することができる。 ☐ 読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。 ☐ 会話、ニュース、講義を聴いて、話の内容、論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握することができる。 ☐ 自分の意見を、日本語の文章によって表現することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語能力試験 N 1 程度の日本語能力を十分に身につけることができる。		日本語能力試験 N 1 程度の日本語能力を身につけることができる。		日本語能力試験 N 1 程度の日本語能力を身につけることができない。	
評価項目2	読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を十分に理解することができる。		読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。		読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができない。	
評価項目3	自分の意見を、日本語の文章によって十分に表現することができる。		自分の意見を、日本語の文章によって表現することができる。		自分の意見を、日本語の文章によって表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	12月の第2回日本語能力試験において、N 1 を合格することを目指す。具体的には、練習問題を解き理解を深め、まとめ問題により理解度を確認する。漢字・語彙・文法は宿題を中心とし、読解・聴解は授業内で取り組む。夏休みの宿題として作文を課し、コンクールに応募する。また、日本語能力試験以降は意見文を書く練習をする。					
授業の進め方・方法	問題演習形式とする。聴覚問題の際には音声機器を使用する。毎回宿題として漢字・語彙・文法の問題を出題する。次の授業の最初に理解度確認のための実践問題を解き、その点数も評価に入るため、毎回の宿題をしっかりと行うこと。					
注意点	学生生活を送る上で、日本語の能力は大変重要です。毎回の課題、宿題にしっかりと取り組み、日本語の力を身につけていきましょう。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業概要	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。		
		2週	漢字 1 読解 1	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。		
		3週	語彙 1 聴解 1	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。		
		4週	文法 1 読解 2	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		
		5週	漢字 2 読解 3	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。		
		6週	語彙 2 聴解 2	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。		
		7週	文法 2 聴解 3	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		
		8週	漢字 3 読解 4	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。		
	2ndQ	9週	語彙 3 読解 5	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。		
		10週	文法 3 聴解 4	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。		
		11週	漢字 4 聴解 5	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。		
		12週	作文 1	報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。		
		13週	作文 2	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。		
		14週	作文 3	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。		
		15週	作文 4	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。		
		16週	漢字 5 語彙 4 文法 4	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。		
後期	3rdQ	1週	読解 6 聴解 6	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。		

		2週	語彙 5 読解 7	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。
		3週	文法 5 読解 8	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。
		4週	漢字 6 聴解 7	類義語・対義語を思考や表現に活用できる。
		5週	語彙 6 聴解 8	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。
		6週	文法 6 聴解 9	社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。
		7週	総合問題 1	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
		8週	総合問題 2	収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
	4thQ	9週	文章読解 1	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。
		10週	文章読解 2	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。
		11週	意見文 1	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。
		12週	意見文 2	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。
		13週	意見文 3	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。
		14週	意見文 4	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。
		15週	意見文 5	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。
		16週	まとめ	作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	授業内試験	作文	能力試験	意見文	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	65	10	10	15	0	0	100	
基礎的能力	65	10	10	15	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	